

キッピッピ

⑨

三田市立図書館

2022年

4月



あたらしい本がはいったよ

はなになりました

内田 麟太郎／作 南塚 直子／絵
童心社 2022年1月 Eミナ

「だれがすき？」リスさんがアリさんにたずねます。

おへんじをきいて、リスさんのかころは、はなになりました。アリさんもトリさんも、みんなのえがおがじゅんばんにさいて、まるでおはなばたけのよう…きもちをつたえることばのすばらしさがえほんいっぱいにあふれていて、あたたかいきもちになれる、春にぴったりの1冊です。



こぐまのともだちはどこ？

ペトル・ホラチェック／作者 椎名 かおる／訳者
あすなろ書房 2022年2月 Eホラ



まだみたこともない「ともだち」をさがしにでかけたさびしいくろくまくんがであったのは、おなじように「ともだち」をさがすちやくまくん。ふたりでいっしょにともだちさがしにでかけます。あぶないみちもちからをあわせてすすむふたり。さあ、ほんとのともだちはみつけられるかな？

⑩

児童室 4月展示

★各館で展示しています

《本館》 きょうから 友だち！

入園・入学など、あたらしい出会いにわくわくする4月。どんな友だちができるかな？ 友だちづくりがたのしみになる本をあつめました。



ともだちになろうよ

中川 ひろたか／さく ひろかわ さえこ／え

アリス館 2004年6月 Eヒロ

おかあさんは、よく、おともだちできたってきくけれど、ともだちってひとつのようなのかな？ ぼくにはぜんぜんわからない。そんなワニのカイくんところに、うさぎのウーちゃんが「ともだちになろうよ」といってきて…。

《ウッディタウン分館》 のりものでゴー！

暖かくなってきたのでどこかにお出かけしたいな。いろいろなのりものの本を集めます。

撮り鉄 W クロス！ ねらえ！ 世界最速モンスター列車

豊田 巧／作 田伊 りょうき／絵

あかね書房 2021年4月 Nトヨ

主人公の盛田空忍くんは鉄道の写真を撮ることが大好き。最速の「モンスター列車」のかっこいい写真を撮ることができるかな。



《藍分室》 ぴっかぴか

さあ、4月がスタート！ としょかんでも、みんなのぴっかぴかな気もちをおうえんする本をあつめておまちしています。

ペネロペのしんがっき

アン・グットマン／文 ゲオルグ・ハレンスレーベン／絵

ひがし かずこ／訳 岩崎書店 2018年2月 Eハレ

ながいお休みもおわり、ようちえんが始まります。ペネロペはかばんにもっていくものをいれています。なにをいれているのかな？ はやくようちえんにいきたくなる、そんなえほんです。





ほん

みつけたよ！こんな本



トムと3時の小人

たかどの ほうこ／作 平澤 朋子／絵

ポプラ社 2021年6月 Nタカ



ある日曜日、おかあさんにつれられて入った古道具屋で、つとむは1さつの本をみつけます。題は『トムと3時の小人〈下〉』。その日はすぐに帰らなければなりませんでしたが、どうしても気になるつとむは、あした、その本を図書館でさがしてみることにします。さあ、トムとつとむの、ちょっとふしぎな物語がはじまります。

だいさくせん

おおふじひっこし大作戦

塚本 こなみ／文 一ノ関 圭／絵

福音館書店 2016年4月 62/16



みなさんは、「樹木医」という言葉をきいたことがあるでしょう。樹木医とは、木のお医者さん、つまり、病気になった木を診断し、治療することを仕事にしている人のことです。これは、樹木医である「わたし」が、むずかしいとされる大きなふじの木のひっこしにいどんだ3年間の、ほんとうにあったお話をです。

図書館員のお気に入り♪ 「えほんからとびだしたオオカミ」

ティエリー・ロブレヒト／作 グレゴワール・マビール／絵

石津 ちひろ／訳 岩崎書店 2015年11月 Eマビ



ある日、いっさつのえほんの中からオオカミがとびだしてきました。みしらぬへやでふあんなオオカミは、もとのえほんにもどううとしますが…。ふとっちょねこにおいかけられながら、いばしょをさがすオオカミのおはなしです。いきいきとしたひょうじょうがみりょくてきて、大人もたのしめるえほんです。

今月の紙しばい

よもぎだんご ぺったん

土田 義晴／脚本・絵

童心社 2012年5月 Kヨ



うさぎのキキとくまのクンクンは、おだんごをつくろうとのはらでよもぎのはっぱをつみました。いそいでかえるとちゅうクンクンがころんでしまい、キキがよもぎのはっぱをきずにはってくれました。いえにかえってさっそくおだんごづくり。はっぱをあらってゆでて、こねこねしたらクンクンはぺったんぺったんすりこぎでおもちつき。そこへねずみのチュータがやってきて…。

なるほど！

いきものまめちしき



こんげつ
今月は
アイアイ
だよ！

どうよう
童謡でもおなじみのかわいい名前のアイアイを知っていますか？

みなみしま
南の島（マダガスカル）の森だけにすむ、めずらしいさるのなかま。長い指からユビザルともよばれています。むれはつくらず、ひとりぐらし。活動するのは夜だけで、昼間は木の上の巣のなかでねむっています。



大きさは36~44cm。大きなお耳と丸まるおめめ、ながいしっぽのふしぎなおさるさん。長い中指で木をたたき虫を探して、見つけたら指でひっぱりだします。ネズミやリスのようなするどい前歯があり、昆虫や果実を食べます。かわいいイメージのアイアイですが、生息地のマダガスカルでは、「悪魔の使い」として恐れられています。



参考文献 「ぬまがさワタリの ゆかいないきもの 総図鑑」
ぬまがさ ワタリ／著者
西東社 2018年5月 480/18